

そうごうもんだい
＜総合問題＞

そうごうもんだい
総合問題

そうごうもんだい
(総合問題 1)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた
次の事例を読んで、問題 114 から問題 116 までについて答えなさい。

じ れい
〔事例〕

Cさん(59歳, 男性)は, 妻(55歳)と二人暮らしであり, 専業農家である。Cさん
はおとなしい性格であったが, 最近怒りやすくなったと妻は感じていた。Cさんは毎
日同じ時間に同じコースを散歩している。ある日, 散歩コースの途中にあり, 昔か
らよく行く八百屋から, 「Cさんが代金を支払わずに商品を持っていった。今回で2
回目になる。お金を支払いにきてもらえないか」と妻に連絡があった。妻がCさんに
確認したところ, 悪いことをした認識がなかった。心配になった妻がCさんと病院
に行くと, 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)と診断を受けた。妻は今後
同じようなことが起きないように, Cさんの行動を常に見守り, 外出を制限したが,
疲労がたまり, 今後の生活に不安を感じた。そこで, 地域包括支援センターに相談し,
要介護認定の申請を行い, 訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することになった。

もんだい や お や こうどう かんが じょうたい もっと てきせつ
問題 114 Cさんが八百屋でとった行動から考えられる状態として, 最も適切な
ものを1つ選びなさい。

- 1 脱抑制
- 2 記憶障害
- 3 感情失禁
- 4 見当識障害
- 5 遂行機能障害

もんだい かいごほけんせいど りよう かん つぎ きじゆつ てきせつ
問題 115 Cさんの介護保険制度の利用に関する次の記述のうち、適切なものを1つ
えら
選びなさい。

- 1 介護保険サービスの利用者負担割合は1割である。
- 2 介護保険料は特別徴収によって納付する。
- 3 要介護認定の結果が出る前に介護保険サービスを利用することはできない。
- 4 要介護認定の利用者負担割合は2割である。
- 5 介護保険サービスの費用はサービスの利用回数に関わらず定額である。

もんだい こ つま がいしゆつ せいげん ふおん こま つま ほうもん
問題 116 その後、妻に外出を制限されたCさんは不穏となった。困った妻が訪問
かいごいん そうだん や お や じじょう はな じぜん かね
介護員(ホームヘルパー)に相談したところ、「八百屋に事情を話して事前にお金を
わた しなもの も さ わた かね しょうひんだいきん しはら
渡して、Cさんが品物を持ち去ったときは、渡したお金から商品代金を支払うよ
うにお願いしてはどうか」とアドバイスを受けた。
ほうもんかいごいん い と かか
訪問介護員(ホームヘルパー)が意図したCさんへの関わりを I C F (International
こくさいせいかつきのうぶんるい あ
Classification of Functioning, Disability and Health：国際生活機能分類)に当ては
めた記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 個人因子への影響を意図して、健康状態に働きかける。
- 2 健康状態への影響を意図して、心身機能に働きかける。
- 3 活動への影響を意図して、身体構造に働きかける。
- 4 参加への影響を意図して、環境因子に働きかける。
- 5 環境因子への影響を意図して、個人因子に働きかける。

そうごうもんだい
(総合問題 2)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた
次の事例を読んで、問題 117 から問題 119 までについて答えなさい。

じ れい
〔事例〕

D さん(70 歳, 男性)は, 自宅で妻と二人暮らしで, 年金収入で生活している。
ある日, 車を運転中に事故に遭い救急搬送された。医師からは, 第 4 胸髄節ま
で機能が残存している脊髄損傷(spinal cord injury)と説明を受けた。D さんは, 入
院中に要介護 3 の認定を受けた。

D さんは, 退院後は自宅で生活することを望んでいた。妻は一緒に暮らしたいと思
うが, D さんの身体状況を考えると不安を感じていた。介護支援専門員(ケアマネ
ジャー)は, 「退院後は, 在宅復帰を目的に, 一定の期間, リハビリテーション専門
職がいる施設で生活してはどうか」と D さんに提案した。D さんは妻と退院後の生活
について話し合った結果, 一定期間施設に入所して, その間に, 自宅の住宅改修
を行うことにして, 介護支援専門員(ケアマネジャー)に居宅介護住宅改修費につい
て相談した。

もんだい つぎ ていあん う しせつ もっと てきせつ えら
問題 117 次のうち, D さんが提案を受けた施設として, 最も適切なものを 1 つ選
びなさい。

- 1 養護老人ホーム
- 2 軽費老人ホーム
- 3 介護老人福祉施設
- 4 介護老人保健施設
- 5 介護医療院

もんだい つぎ かいごしえんせんもんいん せつめい きょたくかいご
問題 118 次のうち、介護支援専門員(ケアマネジャー)がDさんに説明する居宅介護
じゅうたくかいしゅうひ しきゅうげんどきじゅんがく てきせつ えら
住宅改修費の支給限度基準額として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 10万円
- 2 15万円
- 3 20万円
- 4 25万円
- 5 30万円

もんだい しせつにゅうしょ げつご じゅうたくかいしゅう お じたく もど
問題 119 Dさんが施設入所してから3か月後、住宅改修を終えた自宅に戻ること
じたく せいかつ たの いっぽう ふあん かか
になった。Dさんは自宅での生活を楽しみにしている。その一方で、不安も抱えて
たんとく かいごふくしし りがくりょうほうし さぎょうりょうほうし そうだん せいかつじょう
いたため、担当の介護福祉士は、理学療法士と作業療法士に相談して、生活上の
りゅういてん きさい さっし さくせい てわた
留意点を記載した冊子を作成して、Dさんに手渡した。

- つぎ きじゆつ さっし ないよう もっと てきせつ えら
次の記述のうち、冊子の内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 食事では、スプーンを自助具で手に固定する。
 - 2 移動には、リクライニング式車いすを使用する。
 - 3 寝具は、エアーマットを使用する。
 - 4 更衣は、ボタンエイドを使用する。
 - 5 外出するときには、事前に多機能トイレの場所を確認する。

そうごうもんだい
(総合問題 3)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた
次の事例を読んで、問題 120 から問題 122 までについて答えなさい。

じ れい
〔事例〕

E さん(34 歳, 女性, 障害支援区分 3)は, 特別支援学校の高等部を卒業後, 週 2
かい せいかつかいご りよう じたく せいかつ がた
回, 生活介護を利用しながら自宅で生活している。E さんはアテトーゼ型(athetosis)
のうせいまひ ふずいいうんどう くび ふ どうさ み
の脳性麻痺(cerebral palsy)で不随意運動があり, 首を振る動作が見られる。

しょくじ くび うご あ じじょぐ つか た しょくじちゅう ふずいいうんどう
食事は首の動きに合わせて, 自助具を使って食べている。食事中は不随意運動が
つよ しょくじ お くび いた い よこ
強く, 食事が終わると, 「首が痛い, しびれる」と言ってベッドに横になるときがある。

また, お茶を飲むときは取っ手つきのコップで飲んでいるが, コップを口元に運ぶ
まてにお茶がこぼれるようになってきた。日頃から自分のことは自分でやりたいと
かんが ちゃ じょうず の き
考えていて, お茶が上手に飲めなくなってきたことを気にしている。

E さんは, 生活介護事業所で油絵を描くことを楽しみにしている。以前から隣町
あぶらえきょうしつ かよ ぎじゅつ たか はな じたく あぶらえ
の油絵教室に通い技術を高めたいと話していた。そこで E さんは, 「自宅から油絵
きょうしつ かよ かいじょ ねが かいごふくししょく そうだん
教室に通うときの介助をお願いするにはどうしたらよいか」と介護福祉職に相談した。

もんだい しょくじ ようす こんご ひ お かのうせい たか かんが
問題 120 Eさんの食事の様子から、今後、引き起こされる可能性が高いと考
えら
れる二次障害として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 変形性股関節症 (coxarthrosis)
へんけいせいこかんせつしょう
- 2 廃用症候群 (disuse syndrome)
はいようしょうこうぐん
- 3 起立性低血圧 (orthostatic hypotension)
きりつせいていけつあつ
- 4 脊柱側弯症 (scoliosis)
せきちゅうそくわんしょう
- 5 頸椎症性脊髄症 (cervical spondylotic myelopathy)
けいついしょうせいせきずいしょう

もんだい ちゃ の かいごふくししよく たいおう もっと てきせつ
問題 121 Eさんがお茶を飲むときの介護福祉職の対応として、最も適切なものを
えら
1つ選びなさい。

- 1 吸い飲みに変更する。
す の へんこう
- 2 ストローつきコップに変更する。
へんこう
- 3 重いコップに変更する。
おも へんこう
- 4 コップを両手で持つように伝える。
りょうて も つた
- 5 全介助を行う。
ぜんかいじょ おこな

もんだい かいごふくししよく となりまち あぶらえきょうしつ かよ
問題 122 介護福祉職は、Eさんが隣町の油絵教室に通うことができるようにサー
ビスを提案したいと考
えている。

- つぎ りょう もっと てきせつ えら
次のうち、Eさんが利用するサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。
- 1 自立生活援助
じりつせいかつえんじょ
 - 2 療養介護
りょうようかいご
 - 3 移動支援
いどうしえん
 - 4 自立訓練
じりつくんれん
 - 5 同行援護
どうこうえんご

そうごうもんだい
(総合問題 4)

つぎ じれい よ もんだい もんだい こと
次の事例を読んで、問題 123 から問題 125 までについて答えなさい。

じ れい
〔事例〕

F さん(20 歳, 男性)は, 自閉症スペクトラム障害 (autism spectrum disorder) と
じゅうど ちてきしょうがい じたく ははおや さい あね さい にん く
重度の知的障害があり, 自宅で母親(50 歳), 姉(25 歳)と 3 人で暮らしている。

F さんは生活介護事業所を利用している。事業所では比較的落ち着いているが,
じたく かえ ははおや たい ずつ じぶん
自宅に帰ってくると母親に対してかみつきや頭突きをすることがあった。また, 自分
あたま じしゅうこうい み
で頭をたたくななどの自傷行為もたびたび見られる。

しごと ははおや か ちい ころ しょくじ はいせつ かいご あね
仕事をしている母親に代わり, 小さい頃から食事や排泄の介護をしている姉は, こ
れまで F さんのこうどう と さいぎん おお ちから
れまで F さんの行動を止めることができていたが, 最近ではからだが大きくなり力
つよ ははおや きょうりよく と むずか
も強くなって, 母親と協力しても止めることが難しくなっていた。

かぞく こんご かんが けっか しょうがいしゃしえんしせつ にゅうしょ
家族で今後のことを考えた結果, F さんは障害者支援施設に入所することになっ
た。

もんだい つぎ じたく かえ じょうたい がいどう
問題 123 次のうち, F さんが自宅に帰ってきたときの状態に該当するものとして,

もっと てきせつ えら
最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 学習障害
がくしゅうしょうがい
- 2 注意欠陥多動性障害
ちゅういけつかんたどうせいしょうがい
- 3 高次脳機能障害
こうじのうきのうしょうがい
- 4 強度行動障害
きょうどこうどうしょうがい
- 5 気分障害
きぶんしょうがい

もんだい
問題 124 Fさんが入所してからも月1, 2回は、姉が施設を訪ね、Fさんの世話をしている。

ある日、担当の介護福祉職が姉に声をかけると、「小学生の頃から、学校が終わると友だちと遊ばずにまっすぐ家に帰り、母親に代わって、弟の世話をしてきた。今は、弟を見捨てたようで、申し訳ない」などと話す。

介護福祉職の姉への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「これからもFさんのお世話をしっかり行ってください」
- 2 「Fさんは落ち着いていて、自傷他害行為があるようには見えませんね」
- 3 「お姉さんは、小さい頃からお母さんの代わりにしてきたのですね」
- 4 「訪問回数を減らしてはどうか」
- 5 「施設入所を後悔しているのですね。もう一度在宅ケアを考えましょう」

もんだい
問題 125 Fさんが施設に入所して1年が経った。介護福祉職は、Fさん、母親、姉と共にこれまでの生活と支援を振り返り、当面、施設で安定した生活を送れるように検討した。

次のうち、Fさんの支援を修正するときに利用するサービスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地域定着支援
- 2 計画相談支援
- 3 地域移行支援
- 4 基幹相談支援
- 5 基本相談支援